



東京富士美術館

文豪と印象派展

♪ 名曲コンサート

【浄瑠璃ひとすじ60年!～常磐津八重太夫“弾き語りの至芸”】

日時: 2007年 5月6日(日) 13:30～14:30

会場: 東京富士美術館 ロビー

出演: 常磐津八重太夫(浄瑠璃、三味線)… 弾き語り

大畠菜穂子(箏、十七絃、二十絃)、常磐津文重太夫(助演:浄瑠璃、三味線)

内容: “歌舞伎”の語り物「浄瑠璃」。常磐津節「重要無形文化財」総合認定保持者の常磐津八重太夫。これまでに国内外5,000回を越える出演数を誇る。今回は、創作曲「雪山童子」をはじめ、常磐津の名曲「林爛三人生酔」で泣き・笑い・怒りの三人役を、「油屋酒宴」では10人の登場人物を三味線の伴奏をつけ、一人でこれを演奏するという“空前絶後”の至芸に初挑戦! 浄瑠璃ひとすじ60年。磨き抜かれた芸は“人間国宝”の域に迫まる!

- 演目:
- 日本の調べ(お江戸日本橋、祇園小唄、乗合前弾、屋台の合方、涙そうそう他)… 箏・三味線
 - 常磐津「あぶらやしゅうえんのだん油屋酒宴の段」… 浄瑠璃・弾き語り:常磐津八重太夫
 - 創作曲「せっせんどうじ雪山童子」(作詞曲/常磐津八重太夫)
… 弾き語り:常磐津八重太夫、唄:常磐津文重太夫、箏・十七絃・二十絃:大畠菜穂子
 - 常磐津「りんかんさんにんまよひ林爛三人生酔」… 浄瑠璃・弾き語り:常磐津八重太夫



photo 小島由起夫

●常磐津八重太夫(浄瑠璃、三味線)ときわづ●やえたゆう

1941(昭和16)年、群馬県生まれ。6歳から叔父とともに義太夫の稽古場に通う。小学5年から常磐津を習い、毎日稽古に励む。子どもながらに独特の節回しで古典を語る“語り”の奥深さに魅了され、中学3年の時、生涯“芸の道”に生きようと決め、群馬から単身上京。故・先代家元の常磐津文字太夫師に入門。内弟子として日々厳しい修業に耐え、16歳で歌舞伎の初舞台を踏む。68年江戸時代から由緒ある常磐津八重太夫を襲名。歌舞伎座、国立劇場をはじめ、歌舞伎の一流舞台に立つ一方、82年には「訪米歌舞伎」団員として、中村歌右衛門、勘三郎らと海外公演に初参加。以来『日本の伝統芸能を世界に知らせたい』との願いは、その後も度重なる訪米、訪欧・中国公演として実現する。07年秋には、3回目の訪中公演を行なう(文化庁助成事業)。

これまでに歌舞伎・日舞、NHK出演・素浄瑠璃など、国内外5,000回を優に越える出演数を誇る。92年の初リサイタルで、常磐津の太夫として初の「文化庁芸術祭賞」受賞。00年6月には、常磐津の正統な伝承者の一人として数少ない常磐津節「重要無形文化財」(総合認定) 保持者となる。

浄瑠璃の太夫(語り手)としては、珍しく三味線も弾きこなす名人で、常磐津節を「弾き語り」で演奏出来る稀な達人として高い評価を受けている。

浄瑠璃ひとすじ60年。磨き抜かれた芸は“人間国宝”の域に迫まる!

●大畠 菜穂子(箏、十七絃、二十絃)おおはた●なほこ

NHK邦楽オーディション合格。「日本音楽集団」団員。国内・海外公演多数。しなやかにしてダイナミックな演奏には定評があり、ウィーンフィルメンバーや世界3大テナーのホセ・カレiras氏等、世界的音楽家の信頼を得、多数共演。99年NHK大河ドラマ「元祿繚乱」箏指導を担当。00年より「小椋佳コンサート」ツアーに参加。05年ウィーンフィルメンバー「ウィーン・ゾリステン」との共演CDをリリース。生田流宮城会師範。



●常磐津文重太夫(助演:浄瑠璃、三味線)ときわづ●ふみえだゆう

父・常磐津八重太夫に師事。初舞台は、1990年「常磐津八重太夫の会」国立劇場に出演。以降、歌舞伎座公演・NHK邦楽番組などの出演多数。文化庁伝統文化邦楽こども教室講師も務める。

